



# 荻窪まちづくり懇談会実施報告書

平成 25 年 3 月  
荻窪まちづくり懇談会

## 懇談会のまとめにあたって

○この「荻窪まちづくり懇談会実施報告書」は、平成24年12月～平成25年3月の全6回にわたって実施された荻窪まちづくり懇談会の概要と、参加者の方々から出された意見をまとめたものです。

○懇談会では、荻窪駅周辺にお住まいの方など70名がメンバーとなり、荻窪駅周辺のまちづくりについて意見交換を行いました。

○この懇談会で出された意見は、今後の荻窪駅周辺まちづくりの取り組みで活かしてまいります。

杉並区都市整備部都市再生担当課

## 目次

### <はじめに>

荻窪まちづくり懇談会の概要	1
---------------	---

### <懇談会のまとめ>

1. 荻窪らしさ・まちの魅力	5
2. 暮らしやすさ・安全・安心	12
3. 駅南北のつながり・交流	20
4. まちのにぎわい	27

### <参考>

参加者アンケート	33
----------	----

< はじめに >

## 荻窪まちづくり懇談会の概要

### ①趣旨・目的

- ・平成 24 年度に実施された区民意見交換会、アイデアコンペの成果を踏まえ、荻窪駅周辺にお住まいの方、荻窪駅を利用されている方が、荻窪駅周辺のまちづくりについて話し合う場です。
- ・ワークショップ形式を採用し、ざっくばらんな雰囲気の中で意見交換を行いました。
- ・本懇談会の成果は、平成 25 年度開催予定の「(仮称) 荻窪まちづくり会議」に引き継がれ、今後のまちづくりを進める上での大切な資料となります。

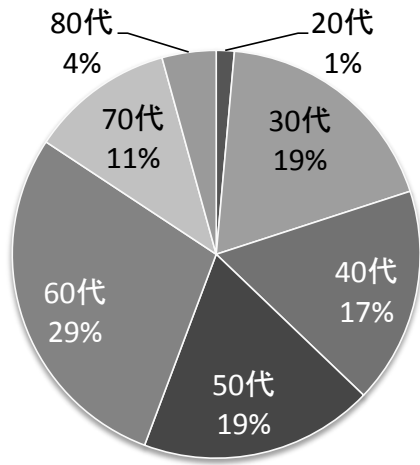
### ②参加メンバーの概要

- ・荻窪駅より半径 1 km 以内（下図参照）にお住まいの方、または、土地・建物をお持ちの方、営業されている方で、かつ年齢 18 歳以上の方
  - ・参加メンバー数 70 名※
- ※当初の募集人数 50 名をはるかに超える 97 名の応募があったため、地域・年齢のバランス等を考慮したうえで、70 名の方をメンバーとしました

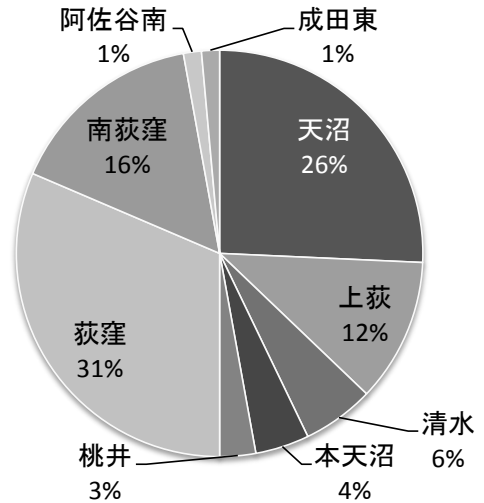


### ③参加メンバーのプロフィール (70名)

(年代別構成)



(住所別構成)



### ④各回のプログラムと内容

	内容	日程/出席者
第1回	<p><b>オリエンテーション/課題を出し合う</b></p> <p>◆ワークショップ (ワールドカフェ方式※)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4つのテーマ (A~D) ごとの荻窪駅周辺の課題 (A荻窪らしさ・まちの魅力/B暮らしやすさ・安全・安心/C駅南北のつながり・交流/Dまちのにぎわい)</li> </ul> <p>※ワールドカフェ方式での進め方 A~Dのテーマの中からそれぞれ1つを設定した4つのテーブルに分かれて、約20分の討議をした後、次のテーブル (別テーマ) に移動し、4つのテーブル (4テーマ) を巡り、討議を重ねました。最後に、最初のテーブル (テーマ) に戻り、それまで出た意見のまとめを行いました。</p>	<p>平成24年 12月16日(日)</p> <p>(出席者: 56名)</p>
第2回	<p><b>テーマ①「荻窪らしさ・まちの魅力」</b></p> <p>◆ワークショップⅠ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 荻窪らしさ・まちの魅力</li> <li>・ その魅力を減じているもの、抑えているもの</li> </ul> <p>◆ワークショップⅡ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 荻窪らしさ・まちの魅力をさらに引き出すための方策</li> <li>・ 方策を実現するために、地域は、行政は何ができるか</li> </ul>	<p>平成25年 1月26日(土)</p> <p>(出席者: 56名)</p>

	内容	日程/出席者
第3回	<p><b>テーマ②「暮らしやすさ・安全・安心」</b></p> <p>◆ワークショップⅠ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・荻窪で暮らしやすさを感じているところ</li> <li>・不便なところ</li> <li>・防災上/防犯上心配な点</li> </ul> <p>◆ワークショップⅡ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・暮らしやすさ・安全・安心を高めるための方策</li> <li>・方策を実現するために、地域は、行政は何ができるか</li> </ul>	<p>2月2日(土)</p> <p>(出席者：43名)</p>
第4回	<p><b>テーマ③「駅南北のつながり・交流」</b></p> <p>◆ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「駅南北のつながり・交流」に関するハード、ソフト両面からの対応策</li> </ul>	<p>2月16日(土)</p> <p>(出席者：48名)</p>
第5回	<p><b>テーマ④「まちのにぎわい」</b></p> <p>◆ワークショップⅠ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・荻窪駅周辺での各自の行動と、荻窪駅周辺でできたらいいなと思うこと、来街者にしてほしいこと</li> </ul> <p>◆ワークショップⅡ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「にぎわい」のあり方の実現方策</li> </ul>	<p>3月2日(土)</p> <p>(出席者：45名)</p>
第6回	<p><b>荻窪まちづくり懇談会のまとめ</b></p> <p>◆ワークショップⅠ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・荻窪まちづくり懇談会まとめ(案)に対する修正</li> </ul> <p>◆ワークショップⅡ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで議論してきた提案のうち、特に実現したいこと(短期的、長期的)</li> </ul>	<p>3月16日(土)</p> <p>(出席者：50名)</p>

(全回共通) 会場：あんさんぶる荻窪 / 時間：14:00～16:30

なお、第2回～6回懇談会は、毎回8グループに分かれて議論しました。



## ⑤懇談会の成果

- ・ 懇談会で出された意見を内容別に分類し、概要をまとめた「懇談会のまとめ」を作成しました。（5ページ以降を参照）
- ・ 懇談会に応募されて参加できなかった方（27名）にも意見聴取を行いました。



## < 懇談会のまとめ >

# 1. 荻窪らしさ・まちの魅力

### 【懇談会のまとめ】

- 荻窪の魅力は、
  - ・交通・買い物などの利便性
  - ・緑豊かで文化的な住環境が両立している点にあることが指摘されました。
  
- 一方で
  - ・すでにある荻窪の良さが十分に知られていない
  - ・人々が交流する場所・機会が少ないという指摘がありました。
  
- 荻窪の魅力をさらに引き出すための方策として
  - ・すでにある魅力を、住民・来街者双方に適切に発信する
  - ・安全性・利便性を高め、多様な世代が集まるまちにする
  - ・特色あるイベントを実施して魅力をアピールする
  - ・南北の違いを楽しめるまちにする
  - ・緑や景観の保全などにより、住宅地の魅力を育てる
  - ・コミュニティの結びつきを強め、市民力・地域力を発揮するなどが提案されました。

## 1. 荻窪らしさ・まちの魅力

### <出された主な意見>

丸数字は懇談会で意見が出されたテーブルの番号

#### (1) 荻窪の魅力、まちの魅力

荻窪の魅力としては「交通・買い物の便がよい」「住環境が良好で、安全である」「文化的な環境がある」といった指摘がありました。

##### ●交通・買い物の便

- ・交通の便が良い、乗り換えが便利である①②③④⑤⑥⑦⑧
- ・繁華街という面も北口を中心に利便性が高い、買い物が便利②⑤⑦
- ・飲食店が多く、結構美味しいラーメン屋、うどん屋がある③

##### ●住環境の良さ

- ・安全、温かみ、静かでほっとする、生活がしやすい①⑥
- ・住居と繁華街のバランスがよい①②
- ・住宅地が静かで落ち着いている、上品な雰囲気②④⑤⑥⑦⑧
- ・まちが比較的清潔である③
- ・犯罪が少ない、安全である③⑧
- ・緑が多い①⑧
- ・大田黒公園など良い公園や緑地がある④⑥
- ・住民が大人である、レベルが高い⑧

##### ●病院など公共施設

- ・病院が北口には多い、医療機関が充実している②⑧
- ・図書館や公会堂などの公共施設が多い②

##### ●文化

- ・文化的なイメージがある②⑦
- ・文学、音楽、古くからの別荘地である、神社仏閣、お茶、着物、井伏鱒二、与謝野鉄幹夫妻等々色々伝統に裏付けられた古いものがある③
- ・クラシックの街というイメージがある⑦

##### ●多世代交流

- ・広い世代の人が住んでいて交流があるところ④
- ・子育て世代が多い④
- ・ご近所づきあいがある⑧



## (2) 魅力の乏しいところ、抑えているもの

魅力の乏しいところとしては「情報発信が少ない」「人が集まれる場所やイベントが少ない」といった指摘がありました。

### ●情報発信が少ない

- ・情報発信力が無い（例えば音楽のイベントなどいろいろやっているが皆に周知されていないので、なかなか伝わらない）①⑥
- ・「ああ、そんなものがあるの」と居住者ですら知らないものが結構あり、情報発信がされていない③
- ・来街者にとって街がわかりづらい、どこにいけば何があるかというアナウンスが足りない③
- ・住民が土地の歴史を知らなすぎる⑥

### ●個性がない

- ・文化的といわれるが、荻窪の個性は何かと言われるとわかりづらい②⑤
- ・来街者がわざわざ荻窪にくる目的がない②⑤

### ●広場・人が集まれる場所がない

- ・多目的スペースとか、高齢者が気軽に立ち寄れる場所が駅前などに少ない②
- ・駅のまわりに拠点となる公共施設がない③
- ・公園、人が集まれるオープンスペースが少ない⑤

### ●イベントの内容

- ・お祭りなど集まれるイベントも少ない②⑦⑧
- ・音楽祭は一つの魅力としてはあるが、クラシックというものが皆さんに受け入れられているのか、そんなに参加者が多いのか疑問である⑥⑦

### ●住宅地の環境

- ・ミニ開発など出てきて、住宅地の魅力は薄れ始めている④⑥
- ・アパートなどしっかり管理している人がいないところが増えている④
- ・空き家が増えつつある⑧
- ・住民のつながりが希薄になってきている⑦
- ・子育て世代が少ない①
- ・天沼地域は道が狭い④
- ・川が汚い③

### ●交通面

- ・青梅街道や鉄道で南北の交通が分断されている④⑤⑥

## 1. 荻窪らしさ・まちの魅力

- ・中央線ホーム（快速線）にエレベーターが無い④
- ・駅の周辺は歩道もなく交通面で危ない①⑤
- ・北側は道路が狭く日常的に車・自転車・人間のルートが不分離②

### ●商業環境、その他

- ・来街者にとっての魅力というものは、音楽祭とか飲食店ぐらいしか出てこなくて、ラーメン店などが少し減っており、少し魅力が落ちているのではないか④
- ・商店街に魅力が乏しい⑥
- ・映画館などの娯楽施設が少ない⑧
- ・商店街は、生活的にはある程度足りるが、ホームセンターが無いので家電を買うには不便である、若者が好むようなものがない⑦
- ・南口には病院が少ない②
- ・近年ゲームセンターや遊興産業の店が急増している②
- ・昔と違い、居住地に近いところに商店がない②
- ・保育園が足りない④
- ・物価が高い⑧

### （3）荻窪の魅力をさらに引き出すための方策

魅力を引き出すための方策として、「まちの魅力を発信する」「安全で住みやすく、多様な世代が集まる環境をつくる」「文化や食べ物などの特色を活かしたイベントを開催する」「南北の違いを楽しめるまちにする」「住宅地の魅力を育てる」「コミュニティの結びつきを強める」といった提案がありました。

### ●まちの魅力の発信

- ・掲示板、まちの名所案内、観光案内所のようなものをつくって発信していく①
  - ・地域で行政とあわせてNPO等をつくって主体的に荻窪の魅力をアピールしていく①
  - ・あんさんぶる荻窪のように地域の住民が、議論して活発に意見を交換出来るようなものがあればもっと荻窪の魅力を発信できる①
  - ・荻窪の魅力を発信するために、ガイドブックを作り、荻窪の名所を説明するボランティアをつくってはどうか。それを広げて荻窪検定をつくる④
  - ・クラシックやラーメンだけではない荻窪の魅力を出していく、そのために「杉並るるぶ」があるが、もっと細分化してPRをすればよい⑦
- ⇨来街者をあえて呼び込む必要はあるか疑問である⑤

### ●特色のある食べ物やイベント

- ・荻窪はラーメンというイメージが非常に強いというアンケート結果があるので、ラーメン以外で何かアピールしたらどうか。阿佐ヶ谷はカレーがあるので、荻窪は食べ物コン

ぺなどを行ったらいいのではないか②

- ・ラーメン店に関しては、ミシュランのようなランキングをつけてはどうか④
- ・世界各地の名物料理を出すような店を集めてそういうストリートをつくってはどうか④
- ・北口に最近、昔焼鳥屋であった所が空いているが、朝市で野菜を売ったらどうか③
- ・グルメを生かしたまちづくりを進めてはどうか⑥
- ・男女の出会いのようでない街コン②

### ●文化を生かしたイベント

- ・井伏鱒二文学賞、与謝野晶子文学賞などの文学賞を行ったらどうか③
- ・荻窪の文学、歴史文化があるので、郷土資料館や戦争記念館を整えていく⑥
- ・阿波踊りや七夕には負けるわけだから、そういう大きなイベントは考えず、今ある文化的なイベントを育てる。(例えばアニメのイベント、角川庭園の俳句のイベント、荻窪に縁がある作家さんを軸にした文化的イベント、音楽のイベントなど) ⑧

### ●荻窪音楽祭、杉並公会堂等の活用

- ・杉並公会堂をもっと活かす⑥
- ・民間で使えるようなミニホールを行政と協力して作っていく⑥
- ・今の音楽祭のジャンルを日本古来の雅楽などにも広げたら面白い④
- ・荻窪音楽祭に関し、イベントから生活化へということで、楽器の演奏をする場所をもっと簡単に安い値段で利用できるようにする⑦
- ・アニメーションミュージアムをもっと活用・アピールする④

### ●散策ルート、緑地保全、善福寺川の整備、景観まちづくり

- ・公園や緑地など、点としては整備されているが、そこに行く道が狭く、魅力がないので、散策コースをしっかりとつくってほしい④⑦
- ・景観まちづくりにつなげ、大田黒公園とか角川庭園を活用する⑥
- ・緑地保全のための荻窪トラストをつくる②
- ・地図又は今いる場所がわかるパネルを数多く設置する②
- ・荻窪の特色を出すように建築物等の色彩を誘導する(公共施設を作る際、付近の住民でテーマカラーを決めてそれに沿った建築物を作る事でまちなみの統一ができる) ①
- ・まちづくり方針、ルール、デザインコードをつくる(独善的に決めてもよい) ④
- ・善福寺川の整備(浄化・遊歩道) ①

### ●交流拠点

- ・多世代、外部の人も含めた交流拠点を駅の近くにつくる②
- ・老人が毎日きて楽しめる場所をつくる(駅前図書館など) ②
- ・若杉小跡地を住民のニーズに応じて建て替える②
- ・駅前にフリーライブスペースを整備する②

## 1. 荻窪らしさ・まちの魅力

### ●子育て層、高齢者の住みやすいまち、多世代が集えるまちに

- ・地価が高く、子育て世代が住みにくいというところがあり、例えば、2LDK・3LDKのようなマンションをつくる場合に行政が補助し、これから長く住んでくれる子育て世代が住めるまちにする①
- ・多目的スペースなど高齢者が休めるスペース、託児所、子どもが立ち寄れる場所が必要②
- ・働く女性が安心して働ける魅力あるまちにするために、保育園をつくる④
- ・高齢者に関し、単に集まっておしゃべりする、目的がなくても交流できるようなところがほしい④
- ・住民にとって何の問題も無いベッドタウン化した町だからこそ、若者ウケするようなまちづくりは必要ではない、むしろ子育てしやすいまちのような形が良い⑦
- ・住宅街で高齢化が進み空き家が増えているので、空き家や空き店舗の利用により、井戸端会議などができるコミュニティサロンをつくることによって、独り住まいのお年寄りが気軽に集まれる場所をつくる⑧
- ・点字ブロックが色々な所に備え付けられているだとか、店の人が半分くらいは手話ができるだとか、そういった障害者にやさしいまちづくりを進める⑧
- ・中野・吉祥寺が若者のまちということならば、荻窪は障害者、外国人を含め多世代が集えるまちをめざす⑧
- ・商店街の空き店舗の有効活用（保育、高齢者等利用）④

### ●洗練されたまち、来街者が魅力を感じるまちに

- ・洗練された街であるというところに荻窪の良さがあるので、それを打ち出していく⑦
- ・住民に限らず来訪者が魅力を感じるようなまちにする⑥

### ●南北の違いを楽しめるまちにする

- ・南北の違いを楽しむまちに（南は資料館づくりを進め、文化のまちを歩き回れるように、北は個人商店、街の充実を進め、家族が歩いて買い物できるまちに）④

### ●安全性や利便性を高める

- ・道が狭いところについては、防災の面からも電柱を地中化して道をより広くして、より住みやすい街にしていく①
- ・駅の周辺を歩きやすくして、人にやさしいまちづくりを進めていく④⑤
- ・JRの特別快速が停まるように要望していくなど交通の利便性を高める⑤⑥
- ・治安がよいという特徴を伸ばし、「防災コミュニティタウン荻窪」という形でつきつめていく。そのためには公園を増やしたり、道路を広げたり色々ある⑤
- ・交通の便をさらに良くするために南北を覆う大型アクセスをつくる、踏切を復活する⑥
- ・住民が防犯パトロール隊を組織する⑤

●住宅地の魅力を高める

- ・住宅街に関して、用途地域を見直してもらおうとか、最低敷地の面積を決める④
- ・住環境を良くするために、家の前の道路の清掃、シニアによる子どもの見守りなどのボランティアに住民が積極的にかかわる④
- ・緑の保全維持に努める⑤
- ・建築制限を厳しくする⑤
- ・古くからあって趣のあるお店や家の保存②
- ・雑木林や屋敷林を、トラストなどの手法を使って守る⑦

●コミュニティの結びつきを強める

- ・7町会の町を守るスクラムを組む①
- ・地域の学校に要請をし、未成年の人達も一緒にまちをつくるというような育成を行う②
- ・町内会が高齢化しているので、若い人が入れるようにする⑦
- ・新しい町会作りのために祭りを活かす⑦
- ・情報共有の仕方、新しいメディアシステム、フェイスブックなどだけに頼りすぎず、高齢者も受け入れられる情報システムを考えなければいけない⑦
- ・商店街と住民をつなぐことが必要であり、そのために、中心である駅を構内ごと利用する方法についての提案を考えるべき⑦
- ・住民が商店街で買い物をする⑤
- ・行政にたよらない市民力・地域力の発揮⑤

## 2. 暮らしやすさ・安全・安心

### 【懇談会のまとめ】

- 暮らしやすさを感じる点としては
  - ・交通・買い物の便がよい
  - ・静かで落ち着いた住宅地がある
  - ・公共施設や病院が充実しているなどが挙げられました。
  
- 一方で
  - ・歩行者と自転車が一緒になり危ない
  - ・道路が狭く住宅が密集している
  - ・地域のつながりが減っているといった問題点が指摘されました。
  
- 暮らしやすさ、まちの安全・安心を高める方策として
  - ・南北交通、自転車を含めた道路・交通環境の改善
  - ・住民の交流の場の拡充
  - ・高齢者、子育て世代などに配慮したまちづくり
  - ・町会・自治会・地域活動の活性化
  - ・防災・防犯対策などが提案されました。

## ＜出された主な意見＞

丸数字は懇談会で意見が出されたテーブルの番号

### （１）荻窪で暮らしやすさを感じているところ

荻窪で暮らしやすさを感じているところとしては、「交通・買い物の便がよい」「静かで落ち着いた住宅地がある」「公共施設や病院が充実している」といった指摘がありました。

#### ●交通・買い物の便がよい

- ・都心への通勤が非常に便利である①②③④⑥⑦
- ・バスの便も良い③④⑥⑦
- ・電車が深夜まで運転している⑦
- ・買い物が便利（日用品・食品）②③④⑤⑦
- ・おいしい飲食店が多い⑤⑦

#### ●静かで落ち着いた住宅地

- ・商業地域と住宅地域がバランス良く散らばっていて住みやすい①
- ・住宅地が閑静である、落ち着きがある①②④⑤⑥⑦
- ・空気が美味しい②
- ・昔はサークル活動が多かった②
- ・住宅都市で犯罪が少ない、治安が良い④⑥

#### ●公共施設・医療施設

- ・病院にかかりやすい。開業医が多く不安を感じない①
- ・個人病院が充実している④
- ・公共施設（図書館、児童館）が便利④

### （２）不便なところ、防災上/防犯上心配な点

不便なところ、防災上/防犯上心配な点としては、「歩行者と自転車が一緒になり危ない」「道路が狭く住宅が密集している」「地域のつながりが減っている」といった指摘がありました。

#### ●道路・交通

- ・歩行者と自転車が一緒になって危ない①②③④⑥⑦⑧
- ・自転車が、マナーが悪い②⑥
- ・バス通りに歩道が無くて非常に危険である①③
- ・南口 131 号線が特に道幅が狭い④

## 2. 暮らしやすさ・安全・安心

- ・住宅地の道幅が狭く危険である②
- ・環状八号線は空気が悪い②
- ・一方通行が多く不便である②⑥⇔一方通行なので車が無制限にはいってこない②
- ・路上駐輪が歩行を妨げている、違法駐車が多い⑤
- ・駐輪場が少ない⑦

### ●南北交通

- ・南北をつなぐ駅構内の通路が狭く日常非常に苦勞している。人を避けながら一所懸命通ることがやっとなのである①
- ・南北の行き来がしにくい④⑥
- ・自転車南北間が通りにくい⑦

### ●駅周辺

- ・駅周辺に広場がない。特に南口④⑦
- ・高齢者が道で休むところがない⑦
- ・駅構内或いは駅の出た所にトイレが無い。現在直しているが、出来上がったとしても小さく、行列が出来かねない①
- ・駅構内外に災害時の避難場所が少ない①
- ・駅前に公共施設等の集積がない⑦

### ●医療施設・公共施設・サービス

- ・高度な医療を受けることができる総合病院がない①
- ・南側には専門医が多いが、救急病院、総合病院が少ない④⑦
- ・保育園がまだ足りない②⑦
- ・大型の美術館が無い①
- ・上荻2丁目は公共施設（交番や集会所など）がない②
- ・駅北側の地域は文化施設がとても少ない⑤
- ・地域区民センターの部屋がなかなかとれない①
- ・郵便局が早くしまっている④
- ・宅配便の営業所が遠い④
- ・娯楽施設（映画館等）が少ない⑥

### ●住環境

- ・住宅街では昔は非常に土地が広がったが、5・6軒の住宅に建替わってしまう。①②
- ・公園などのオープンスペースが少ない②⑤
- ・ゲームセンター、パチンコ屋が多く教育上の心配がある⑤

### ●コミュニティ

- ・個人情報保護の関係で町会での交流が希薄になり、地域の活動が減っている②



- ・集合住宅だと住民同士の交流が少ない場合が多い②
- ・地域で住民のつながりが無い、近所づきあいが希薄になっている②⑥⑦
- ・若い人が少ない⑥
- ・一人暮らしが多い⑦
- ・色々な団体を束ねる拠点が無い⑧

### ●防災

- ・木造住宅が密集している、地震の火災時のリスクが高い②③⑤⑥
- ・広域避難場所が遠い②③⑤⑥⑦
- ・学校等避難場所が老朽化してきた⑦
- ・広域避難場所の周知が徹底されていない③
- ・駅の近くに避難場所がない⑤
- ・個人情報保護の関係で防犯・防災情報を地域で共有できなくなっている②
- ・シェアハウスやワンルームマンションが増え、顔の見えない住民が増え、危機管理の問題で少し不安を感じる④

### ●防犯・美観、その他

- ・外灯が無くて暗い②⑦
- ・交番が少ない⑦
- ・近所で見回る体制が無い②
- ・泥棒・空き巣が多い⑤
- ・空き家が増えている⑥
- ・物価が高い⑥
- ・杉並区は全地域路上禁煙のはずなのだが、駅近だけが皆守っていて、そこを外れると急にポイ捨てが多くなっている③

## (3) 暮らしやすさ・安全・安心を高めるための方策

暮らしやすさ・安全・安心を高めるための方策として、「南北交通、自転車を含めた道路・交通環境の改善」「住民の交流の場の拡充」「町会・自治会・地域活動の活性化」「防災・防犯対策」などについて指摘がありました。

### ●道路・交通環境の改善

- ・道路幅員が狭いので、安全性からすると道路を拡げたい④⇔道路が狭いためあまり車が入って来ない所が安全で良い④
- ・電線を地下に埋めることで道路の幅員を広くし、バリアフリー化を進める④⑧
- ・狭い道では電柱を地下化すれば、道幅も広く出来、まちの美化にも役立つ③
- ・道路の幅員を広げることは難しいので、進入経路の工夫をして安全にする⑤

## 2.暮らしやすさ・安全・安心

- ・狭い道は一般の車両を制限する①
- ・南側のバス通りを一方通行にして歩道をつくる①
- ・私道が多く、権利者が分からないことが多いので、分かるようにしてほしい④
- ・交通ルールを遵守する⑥
- ・駅周辺の動線の確保②
- ・駅南口、北口それぞれに自家用車用の乗降スペースを設置①
- ・裏通りの拡幅などによる総合的交通体系の整備⑤
- ・青梅街道の歩道の改善⑤

### ●自転車を利用しやすい環境づくり

- ・青梅街道では、車道を自転車が通れるように、路上駐車禁止を強化する③
- ・教会通りは非常に通行量が多く、自転車の通行も多く、衛生病院があり妊婦さんも沢山歩いている状況で危ないので、自転車をおりるように呼びかけるなど対策をとる③
- ・自転車が通行してよい所、歩行者だけの所といった分離をする③
- ・通りによって、時間・曜日で自転車通行を規制する③
- ・自転車が無いと生活が少し大変な場所であるため、駐輪場の充実や自転車用標識の充実により、自転車を使う人に使いやすい道にしていく④⑥⑦
- ・自転車のシェアリングを進める⑦
- ・自転車専用の道をつくる⑥
- ・自転車走行のルール化⑦

### ●南北交通・駅舎の改善

- ・駅南北の地下道の拡大化、駅東側地下道をデッキにして南北をつなげる、北口と南口の再開発を通じてデッキをつなげる①
- ・鉄道の高架化を進めるため、高架化を推進する会を立ち上げる⑧
- ・荻窪駅のコンコースを拡大して乗換動線を確保する③⑥
- ・地下道をもっと明るくする④⑥
- ・高架化などはお金と時間がかかるので、病院を巡るバスとか、南北をつなぐコミュニティバスをつくる⑦
- ・行政に、休むスペースや南北問題も含めて、駅前をどうにかしてもらいたい⑦
- ・JRの駅にホームドアを早く作ってほしい①

### ●緑地、広場の整備

- ・JRを高架化、あるいは青梅街道を地下化し、空いたスペースを緑地にして、まちの交流を図る③
- ・荻窪駅南口の緑地の確保③
- ・荻窪駅北口（500m圏外）の緑地の確保
- ・駅前広場の整備④

### ●高齢者・子育て層にやさしいまちづくり

- ・まちのいろいろなところに休めるベンチがあると良い②⑧
- ・高齢者の方に優しいまちづくりとして、駅前図書館、カフェなどの場所をつくる⑦
- ・高齢者の集まれるスペースを駅周辺につくる⑤
- ・信号の横断時間を長く設定する⑤
- ・総合病院の整備⑦
- ・駅直結の大型保育園の設置②

### ●若杉小学校跡地、空地・空き家の活用

- ・公園などのオープンスペース、図書館、児童館にする⑤
- ・若杉小学校跡地に、子育て世代に優しい施設や荻窪交流会のようなものをつくる⑧
- ・空地・空き家の利用ということについて区が入っていただき、住民のつながりをより深めていく形にしていく④⑤
- ・空き家や若杉小を使って駅北側に文化施設を整備する⑤

### ●住環境でのルールづくり

- ・ワンルームマンションの規制④
- ・景観ガイドラインの設置④
- ・住宅地に小規模な店舗ができるように土地利用の規制を緩和する（行政）⑤
- ・宅地の細分化防止（行政）⑤
- ・建ぺい率やみどりの条例を守るよう指導を徹底する①

### ●住民の交流の場の充実

- ・住民同士の年齢を問わずコミュニケーションをとることができる、コミュニティカフェのような場をつくる②④
- ・各サークルの開催の部屋が取れないので地域区民センターを駅至近につくってほしい①
- ・歩行者天国をつくって、そこで人々が知り合うことによって、まちの活性化や地域交流にも繋がる③

### ●地域や区の情報提供・発信

- ・地域情報を知る機会や情報公開の場所をつくる②
- ・商店街を利用する通行の人たちにも、地域の情報・問題点を公開して、広めていく②
- ・まちの情報が分かるように施設の表示を充実する④
- ・杉並区報配置場所を増やす（病院・接骨院）、区報を全世帯にポスティング⑥
- ・シルバー年代に対して、携帯・スマホ・パソコンで、メールやインターネットができるようなバックアップ体制をとる⑥

### ●町会・自治会の活性化

- ・町内会の横の連絡を密にするように、システムを直す①

## 2. 暮らしやすさ・安全・安心

- ・町会・自治会への入会の促進、町内会の活性化③
- ・町会を活性化するために、新しい人に入ってきてもらいたい④
- ・杉並区の町会を活性化するために、区の方でバックアップをする⑥

### ●地域活動の活性化

- ・地域活動をサポートするコーディネーターをつくる、昔ながらの世話役のような人を依頼する②
- ・地域住民同士で助け合う④⑦
- ・住民の話聞く、高齢者の知恵を活かす場をつくる②
- ・まちづくり講座を開いて人の話を聞く②
- ・まちづくり講座などが開ける場所の提供、学校の土日開放②
- ・地域で小さくてこまめなイベントを行い、交流を深める⑤
- ・町会・自治会が活性化するとともに、新しい自主的な組織をつくるべき⑧
- ・シルバー世代の活用によるコミュニティの活性化⑦
- ・学校で子どものころからボランティア体験をする②

### ●商店街の活性化、住民と商店街のつながり強化

- ・大型商業施設の誘致⑤
- ・個人商店がかつてのように地域とつながる御用聞きのようなサービスをする⑤
- ・商店街のイベントに近隣居住者を巻きこむ⑤
- ・商店街に元気がないので、商店街にも活性化が必要⑧
- ・商店会への加入の促進、商店街に加入するためのガイドラインの作成（行政）②
- ・地域通貨等を使った活性化②
- ・商店街と地域住民の連絡方法の確立⑦
- ・商店街と住民、或いは住民同士のつながりを積極的につなげる⑤

### ●防災対策（ハード面）

- ・木造密集地域にミニ公園など整備して、スペースを確保する③
- ・空き家を空地にしてポケットパークを整備⑤
- ・安心面から避難所への標識の整備②
- ・避難路について分かりやすいルートを確保する③
- ・家の近所にも避難場所が欲しい③
- ・防災公園をつくる⑧
- ・地震の際の避難場所として、若杉小を利用する⑤
- ・タウンセブンに防災関係拠点避難所をつくる④
- ・建物の耐震・不燃化④
- ・ミニ開発の防止、防災面に考慮した開発の誘導⑧
- ・ハード面の防災対策についてのより踏み込んだ議論の場がほしい①

●防災対策（ソフト面）

- ・地域の人々の顔が見えていないとお互いに協力できないので、地域の顔のみえるつながりづくりが必要である③
- ・要援護者の情報公開⑧
- ・防災に関する色々な団体を取りまとめるコーディネーターを養成する⑧
- ・連絡先の再構築（避難先、ライフライン）⑦
- ・震災時に活躍できる地域内で行われたボランティアグループの育成⑥

●防犯・美化対策

- ・交番や警察官の巡回を増やす①④⑤⑦
- ・AEDの設置場所を増やす④
- ・市民パトロール隊をボランティアで組織する⑤
- ・ごみ捨て意識の向上⑥
- ・防犯チェックを進める（ブロック塀、人が集まる場所、お店など）③

## 3. 駅南北のつながり・交流

### 【懇談会のまとめ】

- 南北の分断解消の必要性については
  - ・日常的には困っていない、分断によって南北の個性が保たれている面があり、解消する必要性を感じない
  - ・荻窪の活性化・商業発展のため、分断解消は必要であるという両面の意見が出されました。
- ただしいずれにしても、自転車通行や高齢者などのために、何らかの形で駅南北の行き来を改善する必要があることは、多くのテーブルから指摘がありました。
- 分断解消のための手段については、スロープ・エレベーター等の整備、地下通路の拡張、デッキ整備、鉄道高架化など、様々に意見が分かれました。
- また、
  - ・イベントの拡充
  - ・交流の場の整備
  - ・南北相互の情報発信
  - ・バス路線の充実
  - ・南北のつながりを強める組織づくりや人材の育成など、南北の交流を促進するための様々なアイデアが出されました。

## ＜出された主な意見＞

丸数字は懇談会で意見が出されたテーブルの番号

### （１）南北分断解消の必要性

高齢化や交通環境、商業発展の視点から、南北分断の必要性が指摘される一方で、大規模なハード整備による分断解消の必要性はないとの指摘もありました。どちらにせよ、自転車や人の行き来がスムーズになるとよいというご指摘でした。

#### ●分断解消の必要性、メリット

- ・分断の解消から荻窪は発達するのではないか①
- ・北側には病院があるため、分断が解消すれば便利になるのではないか①
- ・南北のつながりが改善されれば、図書館、銀行等の利用度が高まる③
- ・子育て世代にとっては、保育園の通園等の際に分断解消の必要性は高い③
- ・防災面で、北の人が南に逃げる、南の人が北に逃げることを考えると必要性がある③
- ・将来の人口構成をみると高齢化は避けられない。また、駅から離れた戸建住宅に子世代が住み、駅周辺のマンションに親世代が住み替えるという住宅のリプレース化が今後発生し、駅周辺に高齢者が増えるので、分断解消は必要である⑥
- ・コンペに出ているような大きな整備ができるのであれば、解消した方が便利である⑧
- ・駅上広場などができれば、交流の場を増やしたい⑧

#### ●大規模なハード整備による分断解消の必要性はない

- ・南の人は南側で、北の人は北側で買い物をするので、買い物面では必要性を感じない③
- ・青梅街道、環八通り、中央線をつなぐために、デッキや地下街をつくるなどハード的な整備はあまり望まれないのではないか。南北分断と言っているけど、それ程は困っていない。南北を行き来する通路のエレベーターやスロープを改善する方が現実的ではないか④
- ・分断を残したままの状態でも、南北分断を心理的に解消する方法もあるのではないか⑥
- ・分断されているからこそ、南北が良くも悪くも完結している部分があるので、それを無理にハード的な整備により解消せずとも良いのではないか⑦
- ・北は北らしく、南は南らしく、そのエリア毎の雰囲気は残したい⑧

#### ●人や自転車の行き来はスムーズにしたい

- ・自転車で重い荷物を持ったまま南北を移動することは非常に難しいので、そういう実際の生活ベースで行き来がスムーズにできないということは不便である⑦
- ・分断されていることで各地域の個性が出ているが、各商店街や商業地域が活性化するので、人の行き来はしやすいようにした方が良い⑤

### 3. 駅南北のつながり・交流

#### (2) JRをまたいで移動

現在できる対応策として「地下通路の改善」「駅改札のエレベーター、エスカレーターの改善」が、将来的な対応策として「JRの高架化」「JRの地下化」「駅の上部をデッキでつなぐ」「駅の地下を拡張する」といった指摘がありました。

#### ●段階的整備が望ましい

- ・できることから、段階的に進める方が良い①
- ・高架化は色々なハードルがありすぐにはできないので、現在の南北をつなぐ箇所を少しでも明るく広くきれいにしてほしい②

#### ●改札口前の通路の改善

- ・駅の改札を出た所の通路に、人が一杯いて安全面で危ない①
- ・改札前の通路は帰宅困難者が発生した場合に、避難所としても使えるようにする①

#### ●荻窪地下道、環状八号線連絡通路の改善

- ・らせん状の長い階段、スロープを整備する②
- ・現在ある地下道を色々工夫した方が良い（地下道を明るくする、パトロールを強化したり、防犯カメラを設置したりするなど）③
- ・インテグラルタワーのそばの地下道はスロープを緩やかにする、エレベーターをつける、地上のデッキにする④
- ・荻窪南口の地下通路も狭いので少し広げたら良い④
- ・地下道は明るくて広いものにしてほしい⑤
- ・地下道では、自転車・歩行者の行き来を分ける⑤
- ・地下通路が暗いので日光が入るようにする。バスを小さくして地下道を通す⑥

#### ●新しい地下通路の整備

- ・駅と旧NTTの建物の辺りに緩やかな半地下通路をつくる①

#### ●駅改札へのエレベーターの改善、駅ホームへのエスカレーターの整備

- ・エレベーターを広くして自転車が乗れるようになれば、大きな問題は解決する⑥
- ・自転車で南北を移動する通路が駅から少し離れているので、駅の近くに大型のエレベーターをつくり、自転車と人が一緒に移動できる所があれば便利である⑧
- ・エレベーターは明るく、透明に、自転車も載せられるようにする③
- ・駅ホームへのエスカレーターが少ないので、もう少し数を増やしてほしい⑦
- ・下りのエスカレーターが必要⑧
- ・今ある南北をつなぐ動線上のエレベーター、地下道への案内板がほしい④⑧

#### ●JR線路の高架化

- ・青梅街道の地下化をしてJRを高架にする①
- ・踏切を復活すれば、東京都の連続立体交差事業の対象となり、高架化が可能となるので



はないか⑥

⇨JRの高架化をすると周辺が暗くなるので高架化はしないほうがよい⑤

### ●JR線路の地下化

- ・JRを地下化する①

⇨地下化は心理的にも工事からしても負担が大きい。まちの活力を低下させる⑥

### ●駅の上部にデッキをつくる

- ・将来的にはデッキで繋ぐことが現実的である。その際、高齢化が今後進むので、スロープは使わず沢山エレベーターを設置する必要がある③
- ・駅南北をクロスしてつなぐスロープをつくり、行き来しやすい場所を増やす⑤
- ・タウンセブンの2階の部分をもっとデッキで杉並公会堂まで延ばして、歩いて移動しやすい場所を増やす⑤
- ・駅東側エリアにも立派な南北通路をつくる⑤

⇨デッキをつくるにしても、南口の131号線に悪影響がでないようにしてほしい②

### ●駅の地下を拡張する

- ・JR・丸の内線の改札前の通路を広げ、皆が安全に通行できるようにする①⑤
- ・地上の開発は現実的に難しいので、地下を活用してコミュニティスペースや店舗をつくる⑦

### ●改札口の整備、エキナカ開発

- ・JRと丸の内線の行き来をする人が多いので、直接の専用の乗り換え改札をつくってほしい⑤
- ・JRを説得してエキナカの開発をする⑥
- ・荻窪駅東に改札口の設置⑥

### ●駅南北をつなぐバスやタクシー、レンタサイクル

- ・南北を回る循環バス（荻窪バス）があったら良い④⑤
- ・地域の人達が行き来しやすいように特殊な設定のタクシーが来てくれるとよい⑤
- ・先を見据えた計画としては、駅の上に交通広場を整備し、バスターミナルに南北を繋げる循環バスを通す①
- ・貸自転車システムを南北につくる（線路は歩いて渡る）⑤

## (3) 青梅街道をまたいでの移動

青梅街道をまたいでの移動の対応策としては「青梅街道の高架化・地下化」「歩行者用信号の時間を延長」などの指摘がありました。

### 3. 駅南北のつながり・交流

#### ●青梅街道の高架化・地下化

- ・青梅街道の地下化をする①
- ・青梅街道の高架化②

#### ●歩行者用信号の改善

- ・お年寄りや障害者は青梅街道が広く横断する時に大変であるので、歩行者用信号を長めにする③⑤

#### ●その他

- ・事務局が作成した模造紙に、「青梅街道をまたいで移動」の課題として「天沼の人は阿佐ヶ谷で買い物をすることが多い」と記載されているが、それは言いすぎである⑦
- ・青梅街道は横断歩道が整備されており、それほど問題はない⑧
- ・青梅街道は自転車が多く歩きにくい②

### (4) 南北の交流促進

南北の交流を促進するための対応策としては、イベントの拡充、交流の場の整備、南北相互の情報発信、バス路線の充実、つながりを強める組織づくりや人材の育成、当事者としてまちを育てる意識の醸成など、様々なアイデアが出されました。

#### ●荻窪音楽祭や地域でのイベントを盛んにする

- ・阿佐ヶ谷のジャズや高円寺の阿波踊りに比べて、荻窪音楽祭が埋没しているため、音楽祭を盛んにしていく②
- ・クラシックは専門的な感じがするので、大衆的なイベントがあるとよい④
- ・白山神社のお祭りなどのお祭りやイベントを盛り上げていく②⑧
- ・荻窪はいろいろなものの聖地であるため、その特徴を活かしたイベントを実施する（近代文学、日本戦後美術、アマオケ、アマ合唱団、フォーク、卓球やヨガ、アニメ）⑥
- ・町内会や地域のイベント（例えば少年野球やママさんソフト）により各地域の人が交流できるとよい③

#### ●交流の場の整備

- ・若杉小学校跡地などを利用した広場的スペースが南北にそれぞれ必要である③
- ・商店街の先に何もないと、歩いていてつまらない。若杉小学校跡地を活用して人が集まる場所をつくったらよい④
- ・荻窪ファームという菜園を地下化した JR の上につくり、人々の交流の場とする⑤
- ・駅舎の中にコミュニティスペースがあれば、自然に人が南北から集まって来て交流できる⑦
- ・区民センターや集会所等が活用されていないので、地域コミュニティの拠点をつくり、南北で交流をする⑧

⇒人工的な交流促進は不要だが、人の行き来をスムーズにすることは必要である⑦

●情報発信

- ・南北の情報を分かりやすいように案内する⑤
- ・定期的にみられる情報掲示板の設置①
- ・イベントやお祭りの情報が、一般の方にあまり知られていないので、タウンセブン、学校、防災の放送等を使って告知する⑧
- ・散歩案内ツールや広報誌の作成をする⑧

●バス交通の充実

- ・JR 駅や線路を地下化し、バスのロータリーをそこに持ってくる⑤
- ・バスターミナルを一箇所に集約する④
- ・北で乗ったら南のバスに割引料金で乗れるなどするとよい④
- ・住宅地を走るミニバスを運行する②

●活性化のための人材育成・組織づくり

- ・荻窪を活性化する方策に関する意見をまとめ、実行していく NPO をつくる⑥
- ・商店街・自治会の横のつながりを強める、中心となる人材育成が必要⑦
- ・まちづくりのための人材の登録①
- ・まちづくり委員会がまち行事プランをつくって実行していく①
- ・自分たちのまちは自分たちで育て、創造していく意識の醸成①

●地元での買い物の促進

- ・買い物はできるだけ近所の商店を利用する。そのため、南北の商店街共通のクーポン券やポイント制度を検討する⑧

(5) その他

(1)～(4)に分類されない意見として「区からの情報提供」「子育て層の居住促進」「今の雰囲気大切にしたい」という指摘がありました。

●行政サービスの拡充

- ・杉並区役所を荻窪のインテグラルタワーに移すことで、荻窪が杉並区のへそとなり、人が集まり、商業の発展にもつながる②
- ・行政サービス窓口は便利な場所へ移す、行きやすくする②⑦
- ・インテグラルタワーの活用（図書館、カルチャーセンター）⑦

●区からの情報提供

- ・区の方でもっと調整やリードをしてほしい①
- ・こういった話し合いの場が出た提案について、区としての考えを知りたい④
- ・杉並区が出来ること、出来ない事とその理由（お金なのかマンパワーなのか）に関する情報を明らかにしてほしい②
- ・区役所の職員の考えや本気度がどの程度あるのかを知りたい⑦

### 3. 駅南北のつながり・交流

#### ●今の雰囲気大切に

- ・南口・北口それぞれ個性があるまちなので、南口はこのままで良いのではないか②
- ・荻窪は治安も良く住みやすいので、今のままだを少し残しつつ改善していけばよい②

#### ●子育て世代の居住促進

- ・街の中心に子育て世代が住みやすいように、子育て世代が入りやすい住居等を拡充する③

## 4. まちのにぎわい

### 【懇談会のまとめ】

- 現在以上のにぎわい創出の必要性について、
  - ・ 静かな住環境を守るため、今のままでよい
  - ・ まちの活性化のため、にぎわいづくりがさらに必要だと両面の意見が出されましたが、
    - ・ 荻窪らしい、成熟した魅力づくりを図るべきだという点は多くの人からの指摘がありました。
  
- また、新たな大型商業施設の導入についても
  - ・ まちの無個性化につながるので、これ以上の大型店は必要ない
  - ・ まちの活性化のため、質の高い大型店や地域に貢献する駅前商業施設は必要だ
  - ・ 家電量販店や映画館があるとよいなど、さまざまな意見が出されました。
  
- にぎわいづくりに向けた方策として、
  - ・ 荻窪の商店街・店舗の魅力の発信
  - ・ 回遊性を高めるためのハード整備
  - ・ イベントの拡充と推進のための新たな組織づくり
  - ・ 地域内での情報交換の推進などのアイデアが出されました。

#### 4. まちのにぎわい

##### <出された主な意見>

丸数字は懇談会で意見が出されたテーブルの番号

##### (1) にぎわい創出の必要性

「今以上のにぎわいを創出する必要性はない」と「まちの活性化のためににぎわいづくりが必要である」との両面の指摘がある一方で、「荻窪らしい魅力づくりが必要だ」という指摘は多くの人から出されました。また、「商業的なにぎわいだけでなく住民の活力によるにぎわいも必要だ」という意見も出されました。

##### ●今以上のにぎわいを創出する必要はない

- ・大きなイベントなどでわざわざにぎわいを創出する必要はない①
- ・通過点としてのにぎわいはこれ以上必要ない④
- ・北口・南口が非常に混雑しているので、これ以上混雑せず、静かな方がよい⑥
- ・今のままでよい。行政が勝手にやればいいのか⑧

##### ●荻窪らしいにぎわい、魅力づくりが必要

- ・吉祥寺や新宿のにぎやかさではなく、落ち着いた荻窪らしいにぎわいが必要①
- ・店を増やすだけでは他駅に太刀打ちできないので、質を高めていく必要がある（例えば、ブランド・付加価値ある魅力ある商店街にする、多様性とか広がりのある商店街にする、文化的要素を加味するなど）④
- ・吉祥寺や下北沢など若者のまちをめざすのではなく、例えば神楽坂のように落ち着いた大人のまち、成熟したまちをめざす（大人が回遊でき、子どもが大人と遊べるなど）⑤
- ・質の高いにぎわいがほしい、ざわめく吉祥寺のようなにぎわいは求めていない⑦
- ・風俗店、パチンコ店は規制してほしい③
- ・住宅地の中は必ずしも便利ではないので、駅から離れた所にも広がるにぎわいを作る⑥

##### ●高齢者や子育て世代に向けたまちづくりが必要

- ・若い人がいない街には未来がないので、若い世代に向けたまちづくりが必要（例えば、若い世帯への住宅の供給、大学の誘致、キッズニアなど子どもが遊べる施設など）②
- ・子育て世代や高齢者が増えているので、その人達にやさしいまちをアピールする（例えば商店街の日曜朝市のような統一的な行事を実施する、乳幼児や高齢者にやさしいサービスを飲食店等で実施するなど）④
- ・まちのにぎわいだが商業的なにぎわいに偏っている。これからはもっと面的な賑わい、高齢者や若者子どもの多さなどが重要③
- ・専門学校、集団の誘致⑥
- ・空き家を若い世代の住居として貸し出す②

##### ●文化をアピールする

- ・音楽が溢れたようなまちにする①
- ・散歩が魅力的なまちにする①

- ・マラソン、ジョギングコースの整備や着替え場所の提供により文化をアピールする⑥
- ・荻窪の文化をアピールできる施設や機会の充実（カルチャースクール、大学と連携したエクステンションスクール、ギャラリー、セミナースペース、荻窪講座・検定）⑥

## （２）大型店・駅ビルの必要性

「大型店は今以上必要はない」という指摘と、「大型店・駅ビルは必要である」という指摘がありました。また、家電量販店や映画館等の娯楽施設必要性が指摘されました。

### ●大型店はこれ以上必要ない

- ・どこに行ってもあるような大型店は無個性化につながるのでこれ以上必要ない①②④
- ・大型店はルミネとタウンセブンで充分なので、これ以上必要ない③
- ・駅一体型商業施設は不要である②
- ・吉祥寺のような駅ビルや大きな店舗はいらないので、現状のままでよい⑦
- ・買い物もほぼ日用品にとどまるため、大型店の必要性は無い⑧
- ・すでにある大型店（タウンセブン、ルミネ）の魅力を高めることでよい④

### ●大型店・駅ビル等は必要である

- ・他地域へ買い物に行かなくても生活できるようにするために、質の高いショッピングセンター（駅ビル）等が必要である④
- ・駅ビルと連動したデパートは必要⑤
- ・「丘の上広場」というアイデアコンペの作品のように、駅上空に新たな施設をつくる⑥
- ・立川や八王子ルミネのように男性物と女性物とが分かれている総合的なショッピングセンターがあったほうがよい⑥
- ・大型店や駅ビルがあると災害時には帰宅難民対策などの面で有効である。地域に密着し、商店街と協力するような大型店舗は必要⑦
- ・青空を見たいので高いビルは必要ないが、駅の上の方などに広場をつくることは賛成①

### ●家電量販店、映画館等の娯楽施設は必要である

- ・大型（中型）電気店が欲しい①③
- ・娯楽施設（映画館等）の建設②④⑤⑥

### ●商業施設開発

- ・南口に集客力のある施設をつくるのが有効である⑦
- ・北口のパチンコ店周辺を開発したらどうか（例えば大阪なんばパークスのように緑があり迷宮的なイメージで）③

#### 4. まちのにぎわい

### (3) 個性的・魅力的な店づくり

個性的・魅力的な店づくりに向けて、「店舗や荻窪の魅力の情報発信」「商店街の回遊性を高める」といった指摘がありました。

#### ●個性的・魅力的な店を増やす

- ・ B級グルメの出店を増やす⑤
- ・ 商店街の商の字を「笑」という字にかえ、「笑」をテーマにした店づくりを進める⑤
- ・ 中年以降の人々が楽しめる魅力ある店、商店街の創出（美味しいレストラン、多世代ブティック街、お店の人と語ることでできる店など）④
- ・ 若い母親が安心して買い物ができるように、乳児・子どもを遊ばせられる店舗④
- ・ 24万人の乗降客が立ち寄るようなお店（お酒を飲む場所など）⑥
- ・ 荻窪の限定的な商品を置く店がないから、つくったほうがいい⑧
- ・ 大田黒公園でウェディングができるようになればよい⑤

#### ●店舗や荻窪の魅力の情報発信

- ・ 質の高い飲食店があるがあまり知られていないので、グルメのまちをPRする①
- ・ FM 荻窪を設置して、地域情報を多角的に発信していく④⑥
- ・ インターネットを活用したインタラクティブな情報発信①④
- ・ 荻窪の統一的な広報（ロゴ、色彩等）④
- ・ テーマごとに個性的なマップをつくる（例えば、住民や区民と一緒に、分野別にランク付けをしたマップなど）飲食店だけでなく、自然・公園等についても投票し、マップにすることにより荻窪の魅力や個性を発信する⑦
- ・ 「荻窪百点」のインターネット化⑦
- ・ 歴史と文化の散歩道のガイドマップをつくる②③
- ・ 荻窪史の作成⑦

#### ●住民参加型店づくり

- ・ 店主と客との情報交換をしながら店づくりをする①
- ・ 荻窪音楽祭を商店街一体の祭りとする⑤
- ・ コミュニティカフェ④

#### ●商店街の回遊性を高める、ハード面の整備を進める

- ・ 商店街やまちの回遊性を高める③⑦
- ・ 買い回りがしやすいように、駅周辺のバリアフリー化、駐輪場の整備が必要④
- ・ 7つの商店街の特徴を出す（例えば、大田黒公園に近い商店街では、大田黒公園のカラーがみえるような商店街づくりを進めるなど）②
- ・ オープンカフェがつけれる広場空間をつくる②
- ・ 商店街の無電柱化、一部緑化して休憩所をつくる③
- ・ なんとなく憩い、楽しめる空間・施設、広場の整備②⑥



#### (4) イベントの実施

「荻窪音楽祭の拡充」「新たなイベントの提案」「イベントを行う組織づくり」についての指摘がありました。

##### ●荻窪音楽祭の拡充

- ・荻窪音楽祭以外でも気軽に音楽イベントを実施する①
- ・杉並公会堂のイベントは何をしているのかわからないので、告知が必要③
- ・荻窪音楽祭について、広場を整備して外での音楽イベントを実施する③
- ・クラシックは誰でも演奏できるわけではないので、地元の人が誰でも参加できるものを題材にした文化的なイベントを実施する④
- ・駅前とかでストリートダンスやストリートミュージックなどを楽しめるスペースを設けて、定期的に会を開く⑥
- ・駅から杉並公会堂の間に魅力的な動線をつくったらどうか③
- ・練習場所も含め、一緒に活動できる集会場、イベントの設備が必要④

##### ●新たなイベントの提案

- ・住民がボランティアで、得意分野でガイドツアーをする（文学ツアー、飲み屋ツアーなど）①
- ・荻窪寄席①⑥
- ・荻窪らしさを伝えるウォークラリーの実施①
- ・「荻窪だから」の宝探し⑦
- ・アニメを利用したイベント（例えば、春のアニメねぶた、アニメのコスプレなど）⑤
- ・目黒のさんま祭り⑥
- ・アニメミュージアムを駅の近くに移す①

##### ●イベント、魅力づくりを進める組織づくり

- ・イベント委員会を立ち上げる②
- ・イベントや魅力構築を戦略的にコーディネートするNPO法人等のマンパワーを育てていく④
- ・商店街のイベントについて、住民と商店街が一体となって企画・実施する①
- ・商店街がバラバラなので、リーダーが出てきて、全体を引っ張ってもらえたらよい⑤
- ・荻窪の全商店会共同でのイベントの実施⑧
- ・南北で開催する祭り④
- ・イベントを集約し、官民共同で実施（例えば、和みの湯の周りに様々なグルメを集結させたイベントを開催する、荻窪ラーメン祭りの開催など）⑧

##### ●イベントに関する地域での情報交換

- ・白山神社のお祭りや地域イベントが沢山あるが、南口で実施しているイベントを北口の人が知らないことが多い。南北で情報交換をした方がよい⑦

#### 4. まちのにぎわい

##### (5) その他

(1)～(4)に分類されない意見としては、「コミュニティ活動や交流の場の整備」「町内会の活性化」についての指摘がありました。

##### ●コミュニティ活動や交流の場の整備

- ・若杉小学校跡地に多世代用の施設をつくる①
- ・若杉小学校跡地を活用し、地域単位でスポーツクラブやイベント委員会を立ち上げるにより、親世代の交流が生まれ、まちが活性化する②③
- ・高齢者が自由に集まれ、いろいろなことができる場所として駅周辺に常設のコミュニティの場があるとよい①
- ・あんさんぶる荻窪のような多目的ホールをつくってほしい⑦
- ・起爆的となる公共施設をつくってほしい⑦
- ・インテグラルタワー等の空室の有効利用⑧
- ・世代間交流を進める（空家をつかったコミュニティスペース、年配者と子供が交流できる場所・機会をつくるなど）⑤
- ・地域に根ざした安いレッスン料のカルチャー講座や施設があるとよい①
- ・公会堂以外の大型文化施設の整備⑤
- ・荻窪が有名になるような文化施設の誘致が非常に大事③
- ・荻窪ファーム（空き地などを利用して借り農地を増やす）②
- ・銭湯の保全・活用②

##### ●町内会の活性化

- ・町内会の透明化・活性化を進める。そのため、多世代が順番で、町内会の役員をやれば、町内会の活動に広がりが出るのではないかと②

##### ●杉並区役所の移転によるにぎわいづくり

- ・荻窪駅周辺に杉並区役所を移し、昼間のにぎわいをつくる④

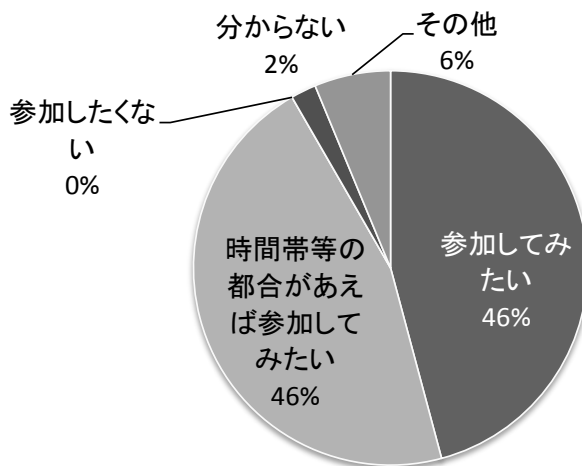
## 参加者アンケート

### ①アンケートの概要

- ・第6回（最終回）懇談会終了後に記述式アンケートを実施
- ・懇談会に参加しての感想、（仮称）荻窪まちづくり会議への参加意向を伺いました
- ・当日の出席者 50 名中 48 名が回答

### ②アンケート結果

Q：平成 25 年度開催予定の「荻窪まちづくり会議」についてお聞きします



Q：荻窪まちづくり懇談会に参加したご感想をお聞かせください

（主な意見 ～ 良かった点 ～）

- ・荻窪に住む個人としての様々な意見が出て参考になった。（各団体所属からの意見でないことがよい）
- ・まちづくりにこれほどのたくさんの方が関心を持ち、熱意があるとは思わなかった。それに気づくことができたのは、参加した大きな収穫だった。
- ・最初はこの懇談会の位置づけが分からなかったが、皆さんの意見を聞いているうちに面白くなってきた。
- ・長く住んでいらっしゃる方の考える荻窪の問題点・魅力を教えていただいた。
- ・今まで、南北間の情報や人との交流が少ないことを知った。
- ・これまでのどちらかというと役所との結びつきの強い一部の方の意見だけを聞くといった方法ではなく、広く民意を聞くのは新しい手法として歓迎したい。
- ・まちづくりに参加できて本当に楽しかった。自分の住むまちだから他人任せでなく自分たちでよくしていきたい。今回はその種まきになった。

**(主な意見 ～ 問題点 ～ )**

- ・会の始まりの時に会の位置づけを明確にしてもらえていなかったと思う。
- ・事前に情報や方向性が示されなかったことが残念。区がどう考えているかなどの情報は教えてほしかった。
- ・意義あるものだと思うが、方法の工夫が必要。この方法では意見が一般化してしまう。
- ・着地点が見えず、正直3回目くらいからマンネリな気がした。
- ・もっと参加者同士が話し合う時間を取ってほしかった。
- ・20代をはじめとする若い人の参加が少なかった。
- ・参加者はみな積極的だったが、参加できない方、物言わぬ方の意見も聞く工夫が必要だ。
- ・全体的に行政への要求型になりがちであった。「あなたは何をしますか（できますか）」という問いかけも行うなど少しずつ当事者意識を養うことも必要ではないか。